

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
固定資産の減価償却法は、定率法を採用している。
- (2) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金・預金、前払金、未収金、仮払金
未払金、前受金、預り金、及び未払法人税等・未払消費税等を含めている。
なお、当期末残高は、下記2に記載するとおりである。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	21,145,276	21,525,081
前払金	300,000	0
未収金	2,081,375	631,850
仮払金	42,680	7,711
合 計	23,569,331	22,164,642
未払金	13,681,113	15,832,724
前受金	90,000	35,000
預り金	302,530	84,796
未払法人税等	80,000	80,000
未払消費税等	792,600	355,300
合 計	14,946,243	16,387,820
次期繰越収支差額	8,623,088	5,776,822

3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,300,000	842,729	457,271
什器備品	1,209,222	1,112,842	96,380
合 計	2,509,222	1,955,571	553,651